

こうしゅ 市議会広報

■特集① 市民と議会との対話

「介護しやすいまちづくりをめざして」

■特集② 12月定例会レポート 議案の審議結果

・次期の選挙から議員定数は17

■一般質問 8人の議員が市政を問う！

■視察研修レポート

■常任委員会レポート

P2～

P6～

P10～

P19

P20～

57号

2020.1.31 発行
山梨県甲州市議会

新春はみんなで歩こう塩山南
(第48回ウォーク in 塩山南にて)



マチイロ

まちを好きになるアプリ



※広報紙をスマートフォンやタブレットで

市民と議会との対話

令和元年10月23日開催

於：市役所本庁舎第一委員会室

テーマ

介護しやすい まちづくりをめざして

厚生経済常任委員会

委員長 幸文男
副委員長 好盛重
委員 青柳八木、夏瀬向、廣日廣、高野飯、小林眞理子

大きな労力が必要な介護

11回目となる「市民と議会との対話」は、厚生経済常任委員会の企画・運営により開催されました。わが国は人口減少、および高齢化が急速に進んでおり、認知症や介護を必要とする高齢者が増加し、今まで以上に介護サービスの需要の増加が想定されています。このような中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすため、また、介護の負担軽減など、介護者支援を充実していくためには何が必要なのでしょう。

委員長 介護をされていて、負担や不安に思うこと、また、苦勞されていることがありましたらお聞かせください。

久保 妻が6年前に脳梗塞を患い、右半身まひと失語症という診断を受けました。市役所の介護支援課に相談しましたが、失語症に対する支援制度はなく、認知症の一環として介護認定ができると聞きまして、それから約6年が経った今年の8月に要介護1の認定を受け、家の中に手すりをつけたり、週2回のデイサービスを利用しています。今後

は失語症に対する手当を検討してほしいと思います。

小林委員 介護認定を受けるまでは、どのように介護をしていたのですか。

久保 妻への手助けを含め、家事なども自力でやってきました。介護サービスは今年から受けていますが、介護ベッドは認定を受ける前から早めに借りました。おかげで、今は妻が一人でいろいろできるようになっています。

小林 私の義母は98歳です

が、自分でどんな行動してしまっています。以前、転倒したことがあるため、日頃から気を付けるよう言っています。また、熱中症になったこともあるため、小まめに水分を摂るよう家族で注意を払っています。時には「買い物に行きたい」と言い出しますが、98歳の高齢者を連れて行くためには、相当な労力を使います。今後は動ける高齢者への対応方法も考えていく必要があると思います。

高野委員 介護保険など支援制度を利用していますか。

小林 義母は要支援1の認定を受けています。ベッドで使う手すりを借りたり、デイサービスを受けていますが、利用できるサービスは少ない状況です。

矢崎 ご家族だけで対応することは大変なので、引き続き

古田 私は10年前まで大和中学校で心の教室相談員を務めていました。また、ボランティアを54年間続けてきました。腰の脊柱管狭窄症や動脈の疾患を発症したため、現在は歩行に支障が出てしまい転倒することが多くなりました。そんな中で医師から介護サービスを勧められました。

制度の分かりやすい説明を

委員長 次に本市の介護サービスについて、ご意見をお伺いします。

古田 私は10年前まで大和中学校で心の教室相談員を務めていました。また、ボランティアを54年間続けてきました。腰の脊柱管狭窄症や動脈の疾患を発症したため、現在は歩行に支障が出てしまい転倒することが多くなりました。そんな中で医師から介護サービスを勧められました。

委員長 具体的にどのような内容のサービスを受けているのですか。

古田 月400円で歩行器をお借りしています。また、理

学療法士の先生から体操の指導を受けています。このように甲州市ではさまざまな介護サービスが利用できるため本当に感謝しています。市民の中には、介護サービスを知らない方もいますので、広報紙等で広くお知らせすることが必要だと思います。

委員長 広報することの必要性について、議会広報編集委員会の日向委員長から発言をお願いします。

日向委員 古田さんの介護サービスに感謝する気持ちに感激しました。そのようなお気持ちをお知らせしながら、私たちも広報活動を頑張りたいと思います。

います。機会があればご利用されてはいかがでしょうか。

廣瀬（明）委員 介護はそれぞれの状況や環境が違うため、本当に大変だと思います。今後も幅広い介護サービスや細やかなケアプランの作成が必要だと感じています。

委員長 皆さんが介護サービスを利用する中で感じている課題などがありますか。

小林 広報のお話が出ましたが、介護保険制度は「内容がすごく難しく、よく分からない」という声を多くの方から聞いています。利用者が制度の内容をある程度理解して、サービスを受けることが大切と考えます。特にお年寄りに対しては、認定申請の際などに分かりやすい説明が必要ではないでしょうか。また、病気や障害によって介護が必要な状態になっても「手足が動かないから必要ない」と思っているお年寄りもいますので、認定になり得る方への配慮や説明をお願いしたいです。

※認知症の人と家族が地域住民や介護の専門家と情報を共有し、理解し合うことを目的にした交流の場

介護者

久保 晃さん

介護者

小林 忍さん

主任介護支援専門員

矢崎 聡さん

介護支援専門員

鈴木雪絵さん

介護サービス利用者

古田豊彦さん



対話当日の様子。介護しやすいまちづくりについて活発な意見交換が行われた

久保 以前の私は「どうしてこんなに高額な保険料を毎月納めなければならぬのか」という気持ちでした。しかし、妻が介護サービスを受けてからは、現在納めている保険料の10倍納めても足りないと感じています。これからはさらに高齢者が増加します。また、子どもの家族と同居することが減少している現状では、介護保険に頼らざるを得ません。そして介護福祉士やヘルパーなどが不足している中では、介護職の給料を上げて人材を確保する必要があると思います。それには保険料を上げなければなりません。そこ

オレンジカフェで交流を

委員長 体力的にも精神的にも介護の負担は少なくないと思いますが、介護者が日頃の悩みや不安を相談したり、介護を受けている方たちが交流する機会があればお聞かせください。

鈴木 先程もお話した「オレンジカフェ」は、毎月第2木曜日の午前10時から正午まで開催しています。毎回約20人

で私たちにできることは健康を維持して、なるべく介護保険を使わないようにすることが大切ではないかと考えています。

鈴木 今後は健康を維持し、なるべく介護認定を受けない生活を続けるために、介護予防や配食のサービスを引き続き利用していくことが大切ではないでしょうか。

矢崎 財政面を考えると不要なサービスの利用は控えるべきですが、身体機能を維持するための介護予防サービスは利用すべきだと思います。

が集まって、お茶を飲みながら参加者同士で悩みを相談したり、楽器の演奏に合わせて歌を歌うなど好きなことをしてもらい、交流しながらくつろいでいただいています。現在の課題は、カフェの認知度アップです。コンビニや銀行などにチラシを置いていますが、これからはボランティアの方や民生委員の皆さんに周知をお願いし、誰でも気軽に

グループ的な交流はありますが、日記を付けながら妻と二人で一日一日を楽しみ暮らせるよう努めています。

飯島委員 介護者同士の交流は、どのような効果があるの

委員長 最後に介護しやすいまちづくりの実現に向けて、市や市議会に対するご要望やご提言をお聞かせください。

久保 山梨県の健康長寿者数は全国でもトップクラスです。甲州市の自然に恵まれた良好な住環境を維持して、健康長寿者を増やすとともに、介護保険を使わないような取り組みをお願いしたいです。

古田 妻は15年間にわたり民生委員・児童委員を務めてきましたので、地域のことがよく分かっています。周りには介護サービスを利用したいお年寄りがいますが、中には申請方法が分からずに、不便な思いをしている方もいます。その人たちの声に耳を傾けて、介護や医療におけるきめ

立ち寄ってもらえるようなカフェにしていきたいと考えています。

久保 妻と私は、山梨東部失語症友の会に参加をしています。毎月1回の例会では、黒板に書き出した各自の近況報告について皆で話をしたり、カレーライスを作って食べたりして交流を図っています。今後はオレンジカフェにも参加してみたいですね。

小林 以前に義母は絵手紙教

でしょうか。

矢崎 お互いの情報交換で困った時の対処方法などが分かれます。また、同じ思いを分かち合えることが気分転換になっていると感じます。

細やかな対応を行うことが必要ではないでしょうか。

高野委員 民生委員・児童委員と市議会議員が連携し、行政につないでいけるような、安心で住みやすいまちづくりを行えたらと思います。

小林 甲州市は果物の産地です。果物は体にとても良い効能があるため、果物を生かした健康と長寿のまちづくりができると思います。また、お年寄りが生き甲斐を持って生活できる環境を整えて、要介護認定者の減少につなげてほしいと思います。

矢崎 甲州市には24時間の訪問介護サービスと、通所と宿泊を組み合わせた小規模多機能型居宅介護サービスを行う



介護を「する人」、「される人」が笑顔で自分らしく暮らすことができる取り組みが求められる
写真：オレンジカフェにて

室に参加していましたが、その仲間が自宅に来てくれます。時には食事に行くなどして交流をしています。

古田 わが家は、介護に関する交流会には参加していませんが、妻が民生委員・児童委員ですので高齢者福祉についても一緒に勉強しています。私はワープロで毎日日記を付けていますが、悲しいことや悔しいことを日記に残すと気持ちやすくなり、翌日に持ち越すことはありません。

鈴木 介護経験者にしか分からないことがあります。愚痴などを遠慮なく吐き出すことが非常に大事ですので、オレンジカフェなどを活用しながら、前向きな気持ちを保ってほしいと思います。

事業者がいまません。さらにサービスの充実を図るためには、積極的な誘致が必要ではないでしょうか。

鈴木 元氣な高齢者に対する支援や、介護予防に対する支援を継続してほしいと思います。また、本日のような市議会議員の皆様との対話は、介護事業にとって非常に有意義と考えますので、今後も続けていただきたいと思います。

委員長 本日は経験などを交えた率直なご意見を伺うことができました。皆様からの貴重なご意見、ご提言を持ち帰り、市議会でも自宅で介護しやすい、きめ細やかなまちづくりに向けて取り組んでまいります。本日はありがとうございました。

12月定例会レポート 議案の審議結果

令和元年甲州市議会12月定例会は、11月29日から12月20日までの22日間の会期で開かれ、令和元年度一般会計補正予算案、条例案、議員発議案など22件の事件について慎重な審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

（審査の詳細は20頁からの
常任委員会
レポートを参照）

次期の選挙から議員定数は17

1減の改正案を全会一致で可決

家公務員の給与改定および本市職員の給与改定等に鑑み、市議会議員に支給する

期末手当の年間支給月数を0・05カ月分の増加とするもので、可決しました。

するもので、可決しました。

◆市議会議員定数条例の一部改正は、本市の人口規模等を踏まえる中で適正な議員定数とするため、現行の18から1減の17とするものです。この改正案は9人の議員による発議で提案され、全会一致で可決しました。なお、この条例は令和3年11月に任期満了を迎える次期の市議会議員選挙から施行されます。

◆市職員給与条例の一部改正は、人事院勧告および県人事委員会の勧告の内容及び鑑み、市職員の給料表、勤勉手当の支給月数などについて改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。この改定により月額800円等の増加、勤勉手当が0・05カ月分の増加となりました。

◆市議会議員定数条例の一部改正は、常任委員会の委員定数を変更するもので、議員定数条例の一部改正と

◆会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例制定は、令和2年度から会計年度任用職員制度が始まることに伴い、市職員給与条例や市職員の勤務時間、休暇等に関する条例など11件の条例改正、および2件の条例を廃止する必要がありますことから制定

◆市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正は、特別職の国



議会改革の一環として議員定数1減を決めた
甲州市議会

国保条例改正は起立採決で可決

◆国民健康保険条例の一部改正は、山梨県国民健康保険運営方針を踏まえ、保険税の賦課方式および税率を改めるため制定するものです。賦課方式は、所得割額・均等割額・平等割額・資産割額を合算する4方式から資産割額を除いた3方式に変更し、税率は、後期高齢者支援金等の課税額および介護納付金課税額の取得割額を上げるものです。本会議では、「可決すべき

もの」とした厚生経済常任委員長の報告に対して反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

■委員長報告に反対討論
川口信子 改正案は現状の賦課方式から資産割額を除く一方で、所得割額の税率を上げている。特に後期高齢者支援金等の税率は0・6割から1・85割と3倍以上になり、減額になる世帯よりも増額になる世帯

が多い状況となる。高い国保税の引き下げを求める声が多くある中、資産割額廃止分を所得割額に振り分けて課税することは納得できない。よって委員長報告に反対する。

◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正は、災害弔慰金の支給等に関する法律等の改正により、災害援護資金に係る償還免除の対象範囲が拡大されたこと

3件の人事案に同意

◆議会選出の監査委員に、廣瀬宗勝議員（80・塩山上塩後）を選任することに同意しました。

◆教育委員会委員に、永田清一氏（70・塩山上萩原）を任命することに同意しました。

◆人権擁護委員に、川崎敏郎氏（65・勝沼町上岩崎）、池田好一氏（70・塩山下於曾）、中村達也氏（61・塩山上井尻）を推薦することに同意しました。

新しい議会構成

12月定例会最終日には議長選挙及び副議長選挙が行われました。議長選挙は無記名投票の結果、中村勝彦議員（47・塩山竹森）が、副議長選挙は指名推薦により、高畑一幸議員（55・塩山上於曾）が当選しました。（議長選挙の投票総数は17票）また、委員会構成は委員長の交代など一部が変更

議長に中村勝彦議員が当選 委員会構成の一部も変更

されました。

【議長選挙】

当選 中村勝彦（14票）
川口信子（1票）
無効票（2票）

【議長】 中村勝彦
【副議長】 高畑一幸
【監査委員】 廣瀬宗勝
【委員会構成】（◎委員長、○副委員長、期数、年齢順）

◆総務文教常任委員会
◎丸山国一 ○岡部紀久雄
廣瀬宗勝 中村勝彦
川口信子 飯島武志
廣瀬一郎 平塚 悟
◆厚生経済常任委員会
◎廣瀬明弘 ○青柳好文
夏八木盛男 廣瀬重治
日向 正 高畑一幸
高野浩一 飯島孝也
小林真理子

◆議会運営委員会
◎夏八木盛男 ○丸山国一
廣瀬宗勝 日向 正
岡部紀久雄 廣瀬明弘
飯島武志 青柳好文
◆議会広報編集委員会
◎日向 正 ○平塚 悟
廣瀬宗勝 夏八木盛男
丸山国一 廣瀬重治
高畑一幸 飯島武志
飯島孝也

◆釈迦堂遺跡博物館組合
中村勝彦 川口信子
青柳好文 高野浩一
飯島孝也 小林真理子

令和元年12月定例会 議案等議決結果一覧表

(賛成＝○ 反対＝● 退席＝△ 欠席＝欠) ※中村勝彦議長及び廣瀬宗勝前議長を除く

種別	議案番号	議員名 案件名	掲載 ページ	平塚 悟	飯島 孝也	高野 浩一	廣瀬 一郎	青柳 好文	飯島 武志	高畑 一幸	廣瀬 明弘	岡部 紀久雄	日向 正	廣瀬 重治	川口 信子	中村 勝彦	丸山 国一	夏八木 盛男	廣瀬 宗勝	結 果
条例案	議案 第84号	甲州市会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	P. 6 P.20																	可決
	議案 第85号	甲州市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第86号	甲州市職員給与条例の一部を改正する条例制定について	P. 6																	
	議案 第87号	甲州市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	P. 7 P.21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
	議案 第88号	甲州市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 7																	
	議案 第89号	甲州市障害者地域生活支援センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 7 P.21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案 第90号	甲州市社会体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 8 P.20																	
	議案 第91号	甲州市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.20																	
補正予算案	議案 第92号	令和元年度甲州市一般会計補正予算（第5号）	P. 8 P.20 P.21																	議長
	議案 第93号	令和元年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)																		
	議案 第94号	令和元年度甲州市診療所事業特別会計補正予算(第2号)																		
	議案 第95号	令和元年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)																		
	議案 第96号	令和元年度甲州市下水道事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第97号	令和元年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)																		
	議案 第98号	令和元年度甲州市水道事業会計補正予算(第2号)																		
	議案 第99号	令和元年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算(第2号)																		
その他の案件	議案 第102号	甲州市立勝沼病院の指定管理者の指定について	P. 8 P.21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案 第103号	甲州市交流保養センターの指定管理者の指定について	P. 8 P.21																	
人事案	議案 第100号	教育委員会委員の任命について	P. 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案 第104号	人権擁護委員の推薦について	P. 7																	
	議案 第105号	監査委員の選任について	P. 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	
議員発議案	発議案 第4号	甲州市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	P. 6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決
	発議案 第5号	甲州市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	P. 6																	

議案の審議結果

2施設を指定管理へ

勝沼病院は山梨厚生会を再指定

◆勝沼病院の指定管理者の指定は、指定先を公益財団法人山梨厚生会（山梨市）とし、令和2年4月1日から7年3月31日までの5年間で、可決しました。

ポーツプラザ報徳（神奈川県小田原市）とし、令和2年4月1日から5年3月31日までの3年間で、可決しました。

◆交流保養センター（大菩薩の湯）の指定管理者の指定は、指定先を株式会社ス

◆令和元年度一般会計補正予算（第5号）は、3億6063万4000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ1

70億1369万6000円としました。主な歳出内容は、総務費としてふるさと支援基金積立金に1億1614万6000円、民生費として生活保護施設事業費等に8474万9000円、農林水産業費として産地パワーアップ事業の追加分に930万4000円、教育費として東京オリンピック



地域医療へのさらなる貢献が求められる勝沼病院



市外からも多くの利用がある塩山テニスコート

別表① 塩山テニスコート使用料

利用者区分	単位	使用料	
		午前9時～午後5時	午後5時～午後9時
市内在住者 又は 市内在勤者	1面 (1時間)	220円	400円
上記以外の者	1面 (1時間)	660円	1,200円

令和2年4月1日から

ック事前キャンペーン関連事業費等に2153万6000円、災害復旧費として台風19号による道路橋りょう災害復旧事業費に753万4000円を追加するもので、主な歳入内容は、国庫支出金に6230万8000円、県支出金に980万7000円、寄附金に2億7000円、繰越金に7477万9000円、市債に420万円を追加するもので、可決

◆社会体育施設設置及び管理条例の一部改正は、塩山テニスコート（旧レックセンター）の効率的な運営と利用者の利便性の向上に資することを目的に、使用料等の改正を行うため、所要の改正を行う必要があることから制定するもので、可決しました。※改定後の使用料は別表①を参照



廣瀬 一郎 議員

公明党



風疹の抗体検査
(市 HP)

問 台風19号による市内の道路や河川の被害と復旧状況を問う。

答 道路は26カ所で土砂崩れなどがあった。河川は25カ所で水門から取水ができなくなった。復旧工事は農道1路線、林道2路線の通行止めを除き、11月上旬に完了している。

問 防災研修として避難所の運営シミュレーションゲームや災害図上訓練を実施する考えはあるか。

答 一部の訓練は、自主防災会役員や防災リーダーの研修で実施しているが、図上訓練、体験型の訓練や研

修は実施を検討していく。

問 病気予防や健康づくりへの取り組みを問う。

答 本年度からは第2次健康増進計画、また第3次食育推進計画に基づき健康づくり施策を進めている。さらに第2次データヘルス計画により、生活習慣病発症・重症化予防の取り組み、かかりつけ医と連携した対策等を進めている。

問 風疹の抗体検査およびワクチン接種状況を問う。

答 今年度の対象者は1339人、抗体検査実施者数は190人、要接種者は49

人であり、その内の27人がワクチン接種を受けた。

問 耳の聞こえが低下している高齢者が、補聴器を使うことで認知症の進行予防につながるというわれているが、補聴器購入費を補助することはできないか。

答 難聴によって社会活動が減少すると、認知機能が低下するとの指摘がある。しかし、現段階では、難聴と認知機能低下の詳しいメカニズムはまだ解明されておらず、予防効果も検証されていないため補助制度は考えていない。今後は国の動向を注視していく。

答 現時点では考えていない

問 補聴器購入費の補助は



台風19号による林道上条平沢線の崩落現場

問 厚生労働省は、就職氷河期世代の就労支援を目的に、30代半ばから40代半ばの正規雇用を推進する方針であるが、本市の取り組みを問う。

答 雇用先である中小規模の事業所を対象とし、小規模事業者の持続化補助金や商工振興資金を用いて、支援を行っている。

問 観光地等の旅先で休暇をしながら働くワーケーションは、受け入れ地域の活性化が見込まれるため全国で広がりをみせている

が、本市ではどのように取り組んでいるのか。

答 本市は全国65の自治体により設置されたワーケーション自治体協議会に、県内で唯一参加している。今後は共同でPRを行うとともに、普及促進に取り組んでいく。

問 八王子市ではナッジの概念を取り入れ、大腸がん検診の受診率向上に成果を上げているが、導入する考えはあるか。

答 職員研修を実施した後、取り組みを検討していく。

※強制的ではなく、自発的に行動するように促すアプローチのこと

8人の議員が 市政を問う！



1	廣瀬 一郎 議員	公明党	11ページ
2	川口 信子 議員	日本共産党	12ページ
3	岡部紀久雄 議員	政和クラブ	13ページ
4	飯島 武志 議員	政和クラブ	14ページ
5	飯島 孝也 議員	創生会	15ページ
6	日向 正 議員	創生会	16ページ
7	高野 浩一 議員	政和クラブ	17ページ
8	廣瀬 重治 議員	是々非々の会	18ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。掲載・発行はいずれも3月上旬の予定です。



会議録検索
システム

一般質問

12月定例会では、産業・教育・福祉・防災・観光・基盤整備など市政全般にわたり、12月10日・11日の2日間、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。



川口 信子 議員

日本共産党



国民健康保険
(市 HP)

問 国保税引き下げへ 基金の充当は

答 目的外の取り崩しはできない



地域医療体制基本計画の早期策定が望まれる

問 国民健康保険制度は、相互扶助制度なのか。それとも社会保障制度なのか。
答 国民皆保険の中核となる医療制度であり、被保険者が病气やけがをした際に必要な給付を受けられる社会保障と、助け合いを図る相互扶助の両面を持ち併せている。

問 国保保険税の賦課方式を、現行の4方式から資産割額を除いた3方式に変更するに当り、国保運営協議会においてどのような議論がされたのか。
答 運営協議会からは、令和2年度から賦課方式を所

問 地域医療構想および公立病院再編をどのように受け止めているのか。
答 公的医療機関の役割や安定的な地域医療を確保するため、今年度中に甲州市地域医療体制基本計画を策定し、病院再編の方向性を示していく。

問 山梨厚生会が引き続き勝沼病院の指定管理を受け

副市長 当初、山梨厚生会からは指定管理運営の基本となる地域医療体制基本計画の具体的な内容が確

定していないため、事業計画や収支計画等の作成は難しいとの申し出があった。そこで指定期間である5年間の平均値によって事業計画や収支計画等を立てることとで合意に至った。

問 小中学校再編の議論はどのように進んでいるのか。
答 教育長 総合教育会議では学校統合について協議を行い、小中学校の保護者を対象にアンケート調査を実施した。教育委員会では、義務教育の目的を達成し、将来にわたり学校の適正規模・適正配置が維持できるような学校の再編等を審議するため甲州市学校再編審議会を設置し、委員による審議を重ねている。

問 学校再編審議会の方向性を問う。また、地域住民に対する説明をどのようにしていくのか。
答 11月の審議会において方向性を出す予定であったが、意見集約に至らなかったため引き続き審議を行っている。審議会から答申があれば、教育委員会としての方向性を決定し、総合教育会議の後に各地域に対して説明を行っていく。

問 新ハザードマップの概要は

答 洪水警戒区域等の情報を盛り込む

問 12月議会の初日に行われた市政の概要説明では、猛威を振るった台風19号に対する本市の対応と被害状況が報告されたところである。全国的に自然災害が多発する中で、本年度予算には新たなハザードマップを策定するため約800万円が計上されているが、策定の概要を問う。

答 本年6月に県水防計画が改定されたことから、今年度内に策定するため取り組んでいる。平成28年3月に策定した土砂災害ハザードマップを基本にして、洪水に関する警戒区域等の情報、避難所、避難地情報、避難のための知識、警戒情報への入手方法等を盛り込んでいく。

問 防災対策に向けて新ハザードマップをどのように活用していくのか。
答 事前に警戒区域や警戒情報の入手方法などを確認してもらう中で、命を最優先にした行動をとるための情報資料として活用されるよう配布をしていく。

問 急傾斜地居住者の避難誘導対策を問う。
答 警戒区域外の避難所を開設し、地元消防団や自主防災会などの協力を得ながら避難を徹底していく。

問 避難誘導等の伝達は、主に防災無線で行われているが、聞き取りにくいことがある。CATVによる文字放送のテロップを活用してはどうか。
答 周知徹底を図る方策に加えて研究していく。

問 危機管理専門官を配置できないか

答 近年の災害発生状況を見るにつけ、今こそ危機管理室を設置し、専門官を配置する時ではないか。

問 市民の生命と財産を守る

答 2020東京オリンピックの開幕まで残り8カ月となった。本市が締結したハンドボールフランス代表チームによる事前キャンプ実施協定の内容を問う。

問 男女の代表チーム52人が、令和2年7月15日から22日まで塩山体育館等を練習会場にする。キャンプ中には、子ども向けのハンドボールスクール、代表選手によるサイン会、本市主催の歓迎レセプションなど友

好イベントの開催を予定している。

問 大菩薩峠エリアのトイレ対策について、現地調査の結果と今後の対応を問う。
答 9月に山小屋丸川荘が設置しているトイレの現地視察を行い、老朽化やアクセス状況等の確認を行った。その後、丸川荘や関係団体の意向を踏まえる中で、県峡東林務環境事務所と協議を行い、考えられる対策方法を確認した。今後はその結果をもって丸川荘や関係団体と協議をしていく。



岡部紀久雄 議員

政和クラブ



土砂災害ハザードマップ
(市 HP)



豪雨災害が頻発する中、改定作業が進められている
土砂災害ハザードマップ



飯島 武志 議員

政和クラブ



全国学力・学習状況調査
(県 HP)

問

全国学力テストの結果は

答

中学校は全国トップクラス



確かな学力育成プロジェクトの成果が上がった学校教育

問 小学校6年生、中学校3年生を対象にした全国学力テストの結果が公表されたが、本市の状況を問う。

答 教育長 小・中学校ともに、全ての教科で全国平均正答率を上回った。特に中学校の国語と数学は全国トップクラスであり、英語も話すことの領域で全国平均を大きく上回った。これは確かな学力育成プロジェクトなどさまざまな取り組みの成果と考えている。

問 確かな学力育成プロジェクト委員会にある3部会は、どのような活動をしているのか。

答 「学級づくり・集団づくり部会」では、各調査による研究・分析を行い、学力や生活態度の向上に取り組んでいる。

「授業づくり授業改善部会」では、統一的な指導案作成の取り組みの中で、甲州市ティーチャーズノートを作成し、全教職員が活用することにより、各学校で同様の授業を行うことができています。

「保護者・地域住民等との連絡部会」では、家庭学習や子育てに関する調査を行い、10項目のQ&Aの作成と説明により、家庭教育と連携を図っている。

問 小中一貫教育に取り組むべきと考えるがどうか。

答 中学校入学時に起こるギャップへの対応や、交流事業を開催するなど学校間の連携強化を図っている。

問 児童生徒が減少する中、市内唯一の高校である塩山高校の存続に向けた取り組みを問う。

答 市長 塩山高校の存続は必要である。現在、塩山高校と産業技術短期大学の校舎交換や、塩山北中学校・松里中学校との中高一貫教育について県教育委員

会に相談を行っている。

問 令和2年度から小学校でプログラミング教育が実施になるが、準備は整っているのか。

答 指導する教員に対して研修を行っている。また、小学校プログラミング教育の手引きを活用し、指導体制の充実を図っている。

問 東京オリンピック・パラリンピックに関わる本市の取り組みを問う。

答 市内で事前キャンプを実施するハンドボールフランス代表チームとの交流、観光分野では、情報発信や市内案内ツールの充実と多言語化、教育分野では、各学校の取り組みに対する支援など、さまざまな取り組みが行われている。

問 本県はエネルギー医薬品の普及率が全国44位と低い。今後、本市はどのように取り組んでいくのか。

答 利用率が低い乳幼児、小中学生等への普及を図るため、啓発パンフレット等の配布を行う。さらに健康づくり推進協議会や医師会、薬剤師会等と連携して積極的に進めていく。

問

新年度予算の査定方針は

答

市民が求める事業に重点配分

問 新年度予算編成の査定方針を問う。

答 甲州市本来の財政規模に向けた取り組みの強化、既存事業の見直しによる主要事業への財源重点投入、スクラップ・アンド・ビルドの徹底など7つの事項を重点項目とし、市民が等しく求める事業には、重点的に予算が配分できるよう進めていく。

問 機構横断的な予算編成の取り組みを問う。

答 目的が類似する事業の重複と競合を避けるため、関係課の間で連絡調整を図り積極的に統合している。

問 宮光園と周辺史跡の研究結果、修復計画、施設の活用方針を問う。

答 宮光園は近代産業遺産として保存と活用を図っている。勝沼のブドウ畑およびワイナリー群の文化的景観調査では、この地域一帯にブドウ栽培とワイン醸造の遺構が残されていた。龍憲セラーや日川水制群、天然のブドウ冷蔵庫等の研究成果は、本年発刊の報告書にまとめた。修復と活用は、保存活用計画に位置付けて実施していく。

問 財政的課題と改善策、民間活用の可能性を問う。

答 県や国からの補助金を得るため、県および国の指定文化財を目指していく。民間活用は、J・R東日本トランスイット四季島の見学場所としても利用されている。今後も利用の可能性を調査研究していく。

問 富士山周辺を訪れた観光客のうち、本市を訪れた人はどのくらいか。また、課題はあるのか。

答 富士東部地域から峡東圏域への出入りデータは所有していない。両圏域間交通の不便などが課題であるため、対策を検討して



ワイン醸造の遺構である龍憲セラーなどを計画に沿って保存活用していく

いきたい。

問 コミュニティスクールは設置目的に沿って活用されているのか。また、成果と課題を問う。

答 学習支援ボランティアの取り組みや地域との積極的な関わりがあり、成果や課題は今後取りまとめを行う。

問 災害時の避難所に必要な福祉サービスを問う。

答 食料や飲料水の提供、医療機関との連携対応、疾患発症等の予防対策、心のケア対応が重要である。

問 市内で開催される各種イベントに交付している補助金の目的・効果・課題を問う。

答 地域活性化を図るため補助金の交付は必要である。課題は実施主体による自主財源の確保である。

問 保育料等の無償化による影響を問う。

答 入所数の大幅な増加はなかったが、施設給付および委託費は増えており、来年度における本市の実質負担額は、約2300万円増加する見込みである。

※非効率な事業等を廃止して、集中化や効率化を図り、新しい事業に置き換え実現すること



飯島 孝也 議員

創生会



「勝沼のブドウ畑とワイナリー群」
文化的景観
(市 HP)



日向 正 議員

創生会



民生委員・児童委員
(市 HP)

問

公立保育所民営化の検討は

答

現状は考えていない

問 保育所や幼稚園周辺の交通安全対策の現状を問う。また、それを総合的に検証する組織はあるのか。

答 散歩コースの点検から問題点を抽出し、歩道などを整備した。車止めや表示板の設置は、関係機関で検討が行われる。

問 福祉的な幼児教育・保育に、教育的要素を取り入れるべきと考えるが、研究指導する機関はあるのか。

答 補助金等の予算関係は子育て支援課で指導し、施設の運営管理は県が指導監査を実施している。

問 塩山地域の公立保育所



県立産業技術短期大学の体育館を避難所に

は、統合・新設が必要と考えるが、幼児教育・保育の歳出予算方針を問う。

答 子育て支援事業計画に基づき、各事業を充実していく。来年度は相談業務を集約し、良好な子育て環境の確保に努めていく。

問 私立保育園の独自性や魅力づくりには、大変な努力を感じる。市財政を考えると公立保育所の民営化を検討すべきではないか。

問 防災対策として重川流域の堤防高対策を問う。

答 河川管理者である県に對して、調査や改修補強を要望していく。

問 各行政区を越えた広域避難訓練を実施する考えはあるか。

答 広域避難の行動計画等を実効性のある訓練内容に変えて実施していきたい。

問 塩山東公民館の前庭を改造し、災害非常時の駐車場として利用できないか。

答 現状は考えていない。

答 今後検討していく。

問 県立産業技術短期大学の体育館を避難所に指定して、使用できないか。

答 課題等を検討し、県に依頼を行っていく。

問 市給食センターでは、重川氾濫時に備蓄米を使つた炊き出しができるのか。

答 非常用発電機と献立用の米を備えていることから可能である。

問 避難所開設時の自主防災会等の役割を問う。

答 避難所運営は、自主防災会が中心になるため、今後も支援を行っていく。

問 指定避難所に食料や水の備蓄ができないか。

答 市庁舎から避難所に届けることを基本にしている。

問 民生委員・児童委員連絡協議会事務局である社会福祉協議会、および所管課である福祉課の役割を問う。

答 社会福祉協議会は、定例会の開催や委員相互の情報共有を図っている。福祉課は、各種社会福祉制度等の熟知と協議会に対する情報提供を行っている。

問

スマート農業への支援策は

答

予算計上したが活用実績はない

問 農業に関するアンケート結果から、回答者の半数に後継者がいないことが分かった。この状況をどのように考えているのか。

答 策定委員会を設置し、農業を守る計画として甲州市農業ビジョンの策定作業を進めている。アンケート結果を参考に、農業振興に有効な施策を反映させていきたい。

問 スマート農業への取り組みと農家支援策を問う。

答 本年度予算に農業IoT機器購入支援事業補助金を60万円計上したが、活用実績はない。活用が見込まれる農業用ハウスへの支援は、JA等と連携を深め、有効活用が図られるよう取り組んでいく。

問 農業生産工程管理「GAP」への取り組み状況を問う。

答 市内では「やまなしGAP」を9つの個人や団体が取得している。取得後は、産地のブランド化や輸出等にも効果が見込まれるため、今後は取得にかかる費用負担等の支援を検討していきたい。

問 農福連携を広くPRするため、障害者が携わった

答 学校給食は、食材を指定した期日に大きさや形をそろえ、必要な量を確保しなければならぬことから

農産物等を販売する農福マルシェを実施できないか。

答 かつぬま朝市、えんごん朝市、こうしゅう福祉まつりには、いくつもの福祉施設が出演している。今後も各種行事への参加を促し、誰もが活躍できる環境づくりを目指していく。

問 今年の6月議会において、障害者が作った農産物を学校給食に取り入れることを提案したが、その後の検討結果を問う。

答 学校給食は、食材を指定した期日に大きさや形をそろえ、必要な量を確保しなければならぬことから



世界農業遺産の認定後には来訪者の増加が期待される

難しいと判断した。

問 世界農業遺産の認定を受けた場合、どのような方で観光振興に結び付けていくのか。

答 認定を受けると国内外から注目を集め、来訪者の増加が見込まれる。果樹を中心とした体験学習型の観光など、認定地域にふさわしい効果的な事業を推進していきたい。

問 産地間競争などが高まる中、本市はワインで乾杯条例、原産地呼称ワイン認証制度などを打ち出し、ワ

イン振興に取り組んできた。今後はさらなる観光振興などを図るため、「ワイン県」を宣言した山梨県と積極的に関わっていくことが必要と考えるがどうか。

答 ワイン県宣言は、日本のワイン産業発祥の地であり、41のワイナリーが集積する本市にとっては歓迎するものである。今後は日本を代表する伝統的ワイン産地としての発展を目指し、ワイン県山梨の中心であり続けるため、県と協力関係を維持して取り組むことが重要であると考えている。



高野 浩一 議員

政和クラブ



農業に関するアンケート調査
(市 HP)

研修 レポート Report

総務文教常任委員会

研修先 ●千葉県南房総市
●千葉県習志野市

幼小中一貫教育の推進と 公共施設の再生計画を研修

11/18 11/19



南房総市の富山学園内を視察する各委員

1日目、南房総市立富山学園を視察しました。将来を担う子どもたちの健全育成のため、小中学校の統廃合を行い、小学校と中学校を学園化し、幼保一体化、幼・小・中の連携、学童保

育の充実を図るとともに、通学支援にスクールバスを運行して教育環境の整備を進めてきました。学力向上においては「放課後こどもクラブ教室」での学習や、学習塾やスポーツ教室の費用を助成するパウチャージャー交付金などの施策を行っています。15年間の教育と成長を一体的に見て、学習面・生徒指導面で一貫した指導、引き継ぎを可能にし、一人ひとりに対応した教育を進めて成果を上げていました。

2日目、南房総市の空き公共施設を活用した企業誘致について視察を行いました。空き公共施設の積極的な情報を発信し、空き保育所や廃校舎などの公共施設を活用した企業誘致に取り組んでいます。雇用の創出、税収の増加、地域経済の活性化、人口減少の抑制などのメリットがあり、実績を上げていました。

次に視察をした習志野市では、公共サービスを継続的に提供し、人口減少社会の中で持続可能な都市経営を実現すること、将来世代に負担を先送りせず、より良い資産を次世代に引き継ぐことを目的に公共施設再生計画を策定し、消防施設、教育施設、生涯学習施設の建て替え、改修、複合化、多機能化、統合化などを再生計画に基づき順次進めていました。

厚生経済常任委員会

研修先 ●富山県富山市
●新潟県長岡市

次世代型のまちづくりを学ぶ

10/17 10/18



富山市では中心市街地活性化の取り組みなどを学んだ

10月17日から18日に富山県富山市と新潟県長岡市で行政視察研修を行いました。

富山市での研修目的は「コンパクトなまちづくり」であり、

公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業・文化等の都市の諸機能を集積させることで、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを目指していました。特に「中心市街地の活性化」の取り組みでは、中心市街地への投資によって税収を増やし、その税収で中山間地域にインフラ整備をする税の還流や、病児保育室、産後ケア対応室、まちなか診療所等の施設を充実させたことで、子どもからお年寄りまでが住みやすい街に変化していると強く印象に残りました。

長岡市での研修目的である「PFI事業方式で整備をした、生ごみバイオガス発電センター」では、従来のごみ焼却、焼却灰の埋め立てといった処理方式を資源化に転換するため、生ごみを微生物の働きで発酵・分解させ、発生するバイオガスを発電に利用して、生ごみを100％利用していました。また、PFI事業のBOT方式を導入して、事業開始の2年前から情報誌やホームページ等の広報を通じて、バイオ事業によって多くのメリットが生まれることを丁寧に説明し、生ごみ分別収集開始の半年前から市内全域で説明会を実施して、市民の理解を得たとの説明を受けました。

- ※① 対象世帯にクーポン券を発行して助成を行うもの
- ※② 民間の資金とノウハウを活用して公共施設等の整備や維持管理、運営を行う手法。BOT方式は事業終了後に公共に施設所有権を移転する方式

問 勝沼ぶどうの丘の管理者は

答 新たな人材を探している



新たな事業管理者が求められる勝沼ぶどうの丘

問 市内の各地域で廃屋同然の空き家が放置されており、近隣住民が不快な思いをしたり、危険な目にも遭っている。また、不審者が住み着くような状況もあるが、市内の特定空き家はどのくらいあるのか。

答 市民からの相談は12件あった。特定空き家に指定はしていないが、外観を確認した上で所有者に通知し、改善を促している。

問 特定空き家の対策が具体的に実行することができているのはいつ頃なのか。

答 判断基準があるため再度現地確認を行う。担当職

員と建築士の資格を持つ職員で判定した結果を対策審議会で審議する。

問 さまざまな手順を踏むことが必要であるため、時間がかかることは承知しているが、現時点の予測として解決までに要する期間はどのくらいか。

答 まずは空き家の所有者に助言や指導を行って、自主的に管理不良が解消されるよう対応していく。管理不良の状態や周辺環境に対する影響の度合いは、個々の事例で異なることから、短期間で行政代執行を行うことは困難であると考えている。

問 特定空き家は、市から勧告を受けた段階で、固定資産税の特例適用がなくなるのか。

答 市による助言や指導にもかかわらず、状態が改善されない場合は、勧告に至ることがあり、固定資産税および都市計画税の税額が上がる場合がある。

問 空き家対策を進める上でのロードマップを作成する計画はあるのか。

答 空き家は、現在の状況や内容が個々の事例で異なることから、事例ごとに方

向性を検討していきたい。

問 所有者が積極的に空き家を処理するために、補助金交付や助成を行う考えはあるか。

答 先進地や近隣市町村の状況を調査研究するとともに、財政面も含めて検討していきたい。

問 市内の最大行政区および最小行政区それぞれの加入件数を問う。

答 最大が387戸、最小が8戸である。

問 行政区の最大規模・最小規模は、基準を作るべきと考えるがどうか。

答 統合などは積極的な住民意思の上で、市行政が取り組むことであると考えている。

問 市長は、勝沼ぶどうの丘事業管理者の兼任をいつまで続ける考えなのか。

答 市長 年度が替わる令和2年4月から、新しい事業管理者が誕生するよう全力を挙げていく。

問 優秀な人材を確保する必要があるが、事業管理者を一般公募する考えはあるのか。

答 市長 考えはない。

※そのまま放置すれば倒壊や衛生上有害となるおそれのある空き家のこと



空家等対策計画（市HP）



廣瀬 重治 議員

是々非々の会

総務文教常任委員会

12/17

12/18

会計年度任用職員として 令和2年度に約240人を採用

総務文教常任委員会を12月17日、18日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■会計年度任用職員の導入に伴う関係条例の整備に関する条例制定
■会計年度任用職員の資

質向上に向けた研修が必要と考えるがどうか。

■約240人の採用を予定している。市職員としてしっかり対応ができるよう教育研修を実施していく。

■安定した人材確保と予算上の課題を問う。

■全庁的な協力体制を組んで人材を確保していく。現段階の人員費は、1億2300万円の増になる見込みである。

■会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

■会計年度任用職員の給料額を決定する基準を問う。

■給料表を基本に、過去の経歴や学歴等を勘案して決定していく。

■社会体育施設設置及び管

理条例の一部改正

■塩山テニスコート（旧レックセンター）の使用料等を改定する根拠を問う。

■甲州市民の利便性等を高めるためである。新たに市外料金を設け、夜間照明の電気料金は午後5時から使用料に含めた。

■令和元年度一般会計補正予算（第5号）

■県支出金に産地パワーアップ事業の推進費補助金が計上されているが、どのような事業に補助しているのか。

■農業用のハウス設置事業や病害虫防除用のスピードプレーヤー等の整備費用に補助をしている。

■ハンドボールフランス代表チームが、本市で東京オリンピックの事前キャンプを実施する際に使用するトレーニング機器の購入費が計上されているが、整備内容を問う。

■トレーニング機器の整

備は、代表チームから要望があった。主な機器は、トレーニングプレート、ダンベル、ジムボール等であり、通常のトレーニングルームに完備されている機器である。購入費用は1480万860円である。

■塩山体育館に250万円を掛けて整備するハンドボール用の床材は、どのようなものなのか。

■国際的に公認されたクッション性がある床材を整備する。当初は購入を検討したが、コート1面分で約2000万円の費用が掛かるため、愛知県の実業団から借用することになった。今回の予算補正は、コート外の安全帯の部分に床材を購入整備するためのものである。

総務文教常任委員会

◎丸山国一 ○岡部紀久雄

廣瀬宗勝 中村勝彦

川口信子 飯島武志

廣瀬一郎 平塚 悟

常任委員会レポート



会計年度任用職員の採用により行政の効率化が期待される

厚生経済常任委員会

12/13

12/16

国民健康保険の税率

引き下げに向けた努力を

厚生経済常任委員会を12月13日、16日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■国民健康保険税条例の一部改正

■市民から税率引き下げの要望が多数ある。市当局の努力が必要と考えるが見解を問う。

■国保運営協議会では、できるだけ被保険者に負担を掛けないことが重視されている。今後も運営主体である県の動向を見ながら検討していく。

■障害者地域生活支援センター設置及び管理条例の一部改正

■名称を子ども家庭障害者支援センターに改め、児童や保護者、障害者等から

の相談を受け、必要な指導、助言など総合的な支援を行う施設になるが、成人者は支援の対象に含まれるのか。

■策定中である地域福祉活動計画では、高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉・その他の福祉における共通事項を定め、重点的に取り組んでいく予定である。

■令和元年度一般会計補正予算（第5号）

■高齢化と医療費の増加を理由に、生活保護の扶助費を7234万円計上しているが、この状況は当初予算で想定できたのではないのか。

■全保護世帯のうち65歳が高齢者世帯であることに加え、高齢者が大腿骨の骨折や脳梗塞、悪性リンパ腫を患い、入院およびリハビリを行うことから、医療扶助費が不足するため予算補正を行うものである。

■台風19号により被害があった市道2路線の具体的な状況を問う。

■上萩原1号線は、路側が崩落してしまった。延長は8・5メートル、幅員は6・4メートルである。一之瀬高橋6号線は、路側で土砂崩れが発生した。延長は8メートルである。いずれも路側のブロック積みとアスファルト舗装により復旧工事を行う。

■勝沼病院の指定管理者の指定

■引き続き山梨厚生会を指定管理者に指定する議案であるが、これまでの診療科目は維持されるのか。

■当面は維持されるが、診療科目や病床数の削減は

基本計画によって実行されるところと考えている。

■交流保養センターの指定管理者の指定

■指定期間を3年間にした理由を問う。

■当初は5年間で募集をしたが応募がなかったた

め、3年間で再募集をしたものである。

厚生経済常任委員会

◎高畑一幸 ○青柳好文

夏八木盛男 廣瀬重治

日向 正 廣瀬明弘

高野浩一 飯島孝也

小林真理子



令和2年度から支援内容が強化される障害者地域生活支援センター

甲州市議会議員補欠選挙のお知らせ

◆ 告 示 日 2月2日(日)
◆ 選挙期日(投・開票日) 2月9日(日)

のんちゃん 絵日記



表紙の写真



スポーツ協会塩山南支部は、1月3日に地域を巡るウォーキングイベント「第48回ウォーキングin塩山南」を開催し、子どもからお年寄りまで約300人が参加しました。今年は下於曽東区内に約3・8kmのコースを設定。参加者はコース上で出題されるクイズに解答するなど、新春の恒例行事を家族や仲間たちと一緒に楽しんでいました。

3月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	29
		本会議 (開会)				
3/ 1	2	3	4	5	6	7
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	予備日	常任委員会 (厚生経済)		常任委員会 (厚生経済)	常任委員会 (厚生経済)	
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会 (総務文教)	常任委員会 (総務文教)	常任委員会 (総務文教)			
22	23	24	25	26	27	28
		本会議 (閉会)				

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください)

○市議会はどこからでも傍聴できますので、ぜひ議会議場・委員会室(市役所本庁舎 3階)へお越しください。

※お詫びと訂正 議会広報56号、19ページの一般質問(平塚悟議員)の文中において、勝沼保育園の開園年度に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。(誤) 令和3年度末 ↓ (正) 令和2年度末

輝く甲州市民



てつかるい 手塚 類 さん

塩山上井尻 (14歳)
松里中学校 卓球部

●2020年東京五輪聖火ランナー
県内聖火リレー:
令和2年6月27日~28日

「聖火ランナーに応募した理由は、自分自身の挑戦心と東京五輪への出場を目指す平野美宇選手に対するエールの気持ちが強かったからです。決まった時は驚きとうれしさでいっぱいでした。当日は甲州市の代表ランナーとして、笑顔を忘れずに堂々と走りたいです」と語ってくれました。

甲州市ホームページで 議会広報のバックナンバーが読めます。

甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「議会広報」をクリックしてください。



議会広報バック
ナンバー

こちら編集室

■議会広報の発行に関する条例には「議会広報は議会の審議、運営活動等の状況を広く住民に公開し、周知させるために発行する」と書かれています。言い換えれば、議会、議員がどのような活動をしているのか、分かります。一人でも多くの市民に読んでいただくことが議会広報の役割になります。■一方で世の中はスマホの普及により、情報伝達が印刷物ではないICT技術が日常的なものになり、スピードも早くなっています。議会の審議、活動を市

民に伝えるために、広報の在り方も変化していく必要が出てきています。さらに市民に知らせる広報活動だけでなく、市民の声を聞く広聴も必要になります。■これからの「広報」はどういうものが良いのか、探し求めていきます。(正)

市議会議員 中村 勝彦
市議会議員 日向 正
市議会議員 平塚 悟
市議会議員 廣瀬 宗勝
市議会議員 夏八木 盛男
市議会議員 丸山 国一
市議会議員 廣瀬 重治
市議会議員 高畑 幸
市議会議員 飯島 孝也